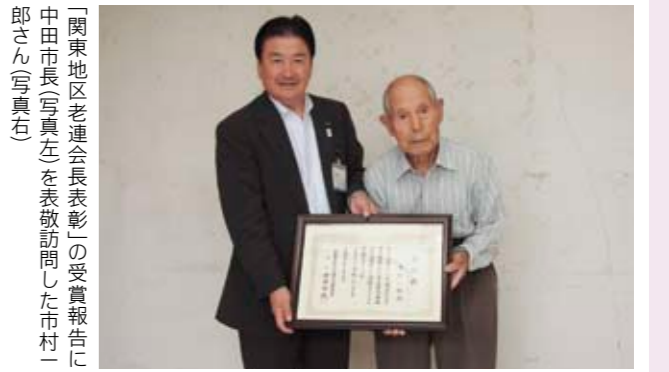




「優秀地域賞」の受賞報告に中田市長(写真左)を表彰訪問した川嶋利弘代表(写真右)

「真壁まちづくり代表者会議」  
茨城新聞広告賞を受賞

7月4日、第20回茨城新聞広告表彰式が開催され、真壁 伝統ともてなしのまちづくり代表者会議(川嶋利弘代表)が茨城新聞広告賞「優秀地域賞」を受賞しました。同広告賞は、平成24年度に茨城新聞に掲載した広告から、企画や表現などが優れた広告主を茨城新聞社が顕彰するもので、52点の中から15点が表彰されました。今回受賞した同代表者会議は、真壁地区のまちづくり関係団体など16団体で結成。平成23年度「サントリー地域文化賞」の受賞を機に、真壁地区のまちづくりの紹介を広告に掲載したものが認められました。



「関東地区老連会長表彰」の受賞報告に中田市長(写真左)を表彰訪問した市村一郎さん(写真右)

市村一郎さん  
「関東地区老連会長表彰」を受賞

7月4・5日の両日、千葉県鴨川市で開催された、平成25年度関東甲信越静ブロックリーダー研修会で、市村一郎さん(真壁町下谷貝地区)が、同ブロック老人クラブ連絡協議会から「関東地区老連会長表彰」を受賞しました。これは、同氏の茨城県老人クラブ連合会理事と桜川市高齢者クラブ連合会会長を長年務め、老人クラブ活動の推進と育成発展に貢献した功績が認められたものです。同氏は、「今年で90歳になりますが、まだまだ元気に頑張っていきたいです」と受賞の喜びを話していました。

平和を祈念し  
「桜川市戦没者追悼式」開催

8月4日、大和ふれあいセンター「シトラス」で「桜川市戦没者追悼式」が行われました。これは、先の大戦における本市戦没者への追悼の意と、ご遺族への敬意を表すとともに、平和を祈念し、市政発展への決意を新たにすることを目的としました。当日は、戦没者のご遺族をはじめ、国会議員の方々など約200人が参列。市遺族連合会会長の中野利一さんが、「祖国の発展を願いながら犠牲になられた尊い思いを風化させず、次の世代に引き継いでいきたいです」と、追悼の辞を述べました。



祭壇に白い菊花を供え、英霊に祈りを捧げました。

J A北つくば西瓜部会が県庁で  
黒ごだまスイカのPR

7月25日、J A北つくばごだま西瓜部会の皆さんが、橋本県知事を訪問し、桜川市で出荷最盛期を迎えた黒ごだまスイカ「誘惑のひとみ」のPRをしました。このスイカは、平成18年から試験栽培を始め、平成20年からこのブランド名で本格販売を展開しています。皮が黒っぽく、糖度が13度以上と甘みが強く、身が詰まっていてシャリシャリ感があるのが特徴です。「今年のスイカは特に出来がよく、自信をもって食べていただけます」と、同部会の皆さんは県知事に話をしました。



橋本県知事(写真中央)を訪ね、黒ごだまスイカをPRするJ A北つくばごだま西瓜部会の皆さんと中田市長(写真左から4人目)

谷貝小児童が  
恒例の「サマーキャンプ」

夏休みに入った7月20・21日の両日、谷貝小学校の校庭で、恒例の「サマーキャンプ」あそぼう・たべよう・いっしょに泊まるう！と題して、谷貝地区コミュニティスクールが開催されました。これは、地域と学校が一体となって、様々な体験機会を児童たちに提供し、「生きる力」を育んでもらおうと毎年開催しているもので、児童とその保護者など165人が参加して行われました。子どもたちは、流しそいうめんやみんなど協力してのカレー作り、キャンプファイアーなど、楽しい夏休みのひと時を過ごしました。



児童たちはみんなで力を合わせ、初めて飯ごうと釜で飯を炊く体験をするなど楽しい夏のひと時を過ごしました。

八勝会真壁道場が  
県テニソンドー選手権で好成績

6月23日、石岡市で開催された茨城県テニソンドー選手権大会で、八勝会真壁道場が好成績を収めました。総勢150人が出場したこの大会に、同道場から4人が出場。小学6年女子の部で成田咲羅さんが優勝。また、小学5年男子の部で小高将麻さんが準優勝、酒寄凌太さんがベスト16。さらに、小学6年男子の部で小高凌麻さんがベスト16に入るなど、日頃の鍛錬の成果を発揮しました。メンバー募集中の同道場では、空手やテニソンドーに興味がある方や体力強化などの健康志向の方などが鍛錬に励んでいます。



輝かしい成績をおさめた(右から)小高凌麻さん、酒寄凌太さん、小高将麻さん、成田咲羅さん

羽黒小の  
二宮金次郎像と市松人形を修復

本年7月に、羽黒小学校で保管されていた二宮金次郎像と市松人形を、それぞれ(株)堀石材工業(堀政美社長)と和久井人形店(和久井四郎社長)が、修復しました。金次郎像は、昭和9年に卒業生一同から寄贈されたもので、足首が折れて倒れていたものを修復し、台座を新たにしました。また、市松人形は、和久井人形店先代社長が昭和57年に寄贈したもので、衣装などを修復し、ケースを新たにしました。両社長は、「子どもたちのためにも、古き良きものを守っていくことが大事なことだと思います」と話していました。



修復された二宮金次郎像と市松人形を間に、(写真右から)田嶋教頭、堀政美さん、和久井四郎さん、山本校長

真壁小が交通安全  
子供自転車全国大会に出場

8月7日、東京ビックサイトで「第48回交通安全子供自転車全国大会」が開催され、茨城県の代表として真壁小学校チームが出場しました。この大会は、1チーム4人組で交通規則や自転車の安全な乗り方などの学科テストと、実技テストの成績を競うもので、同校チームは、茨城県大会で2年連続優勝し、通算14回目の出場となる全国大会に臨みました。当日は、各都道府県47チーム188人が出場。結果は、残念ながら上位入賞はできませんでしたが、チームの持てる力を十分発揮した大会になりました。



全国大会に出場した真壁小学校チームの皆さん